

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年1月18日(2022.1.18)

【公開番号】特開2020-81828(P2020-81828A)

【公開日】令和2年6月4日(2020.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2020-022

【出願番号】特願2018-236789(P2018-236789)

【国際特許分類】

A 6 1 C 5/50(2017.01)

10

A 6 1 C 3/08(2006.01)

【F I】

A 6 1 C 5/50

A 6 1 C 3/08

【手続補正書】

【提出日】令和3年11月30日(2021.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

先端部分が略平面または略球面である根管充填ロッドと、筐体と、該筐体に往復動自在に設けられた前記根管充填ロッドの着脱部と、前記筐体に収められ前記着脱部に往復運動を与えて前記根管充填ロッドを往復動させる往復動発生部とから成る、往復駆動式根管充填具。

【請求項2】

前記往復動発生部が、動力が電動モータまたは水タービンである所の回転軸に偏心させて設けられたピンを、前記着脱部の側面部に設けられたピン穴に掛合させて成るものである、請求項1に記載の往復駆動式根管充填具。

【請求項3】

前記着脱部が、前記根管充填ロッドを後側から挿着してロッドの先を前側から出すように構成されていると共に、挿着した前記根管充填ロッドを止めるための固定手段を前記着脱部の後部に備えている、請求項1に記載の往復駆動式根管充填具。

【請求項4】

前記着脱部の側壁部に、軽量化のための肉薄部または孔部が設けられている、請求項1に記載の往復駆動式根管充填具。

【請求項5】

前記根管充填ロッドの表面がフッ素コート面である、請求項1に記載の往復駆動式根管充填具。

【請求項6】

前記着脱部に前記根管充填ロッドに代えて、古くなった詰め物の除去を行うためのハンドファイルを装着することにより詰め物除去具とする、請求項1に記載の往復駆動式根管充填具。

30

40

50